

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	7
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	女
称号クラス				年齢	15
種族	ヒューリン			境遇	放浪者
出自(効果)	魔術師			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	9	18	8	16	16	9
ボーナス	3	3	6	2	5	5	3
クラス修正	0	1	0	2	1	1	1
他修正							
能力値	3	4	6	4	6	6	4

HP	59
MP	83
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手									
左手	カイトシールド		0	0	0	4	0	-1	0
頭部	ハット					1			
胴部	レザージャケット					4			-1
補助	マント					1			
装身具	高位聖印								
能力値			4	0	6	0	6	12	8
スキル									
その他									
総計(右)			4	0					
総計(左)			4	0	6	10	6	11	7
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 3 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定	4			4	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	4			4	+ 2 d

所持品	
MPポーション*12	
林檎(果実)	
ポーションホルダー	

現在重量: 8
 最大重量: 9
 所持金: 809
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	(11234)	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd+10]								
ヒール	★	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 3d+8+CL*3回復(+2d)								
ジョイフルジョイフル	2	7	メジャー	20m	単体	呪歌	シーンSL回	
効果: 行動済の対象を未行動に								
ディスコード	4	4	DR直前	20m	単体		1R一回	
効果: ダメージ+SLd+8(自分不可)								
ヘイスト	2	3	セットアップ	20m	単体	魔術		
効果: 行動値+SL d								
アドバイス	5		判定直前	20m	単体		シナリオ1回	
効果: ダイス+1d(自分不可)								
クイックヒール	★	5	イニシアチブ				シーン1回	
効果: ヒールを使える(行動済にならない)								
エフェシエント	4		パッシブ					
効果: 効果をダイスで求めるダメージ増加軽減回復の魔術に+SL*2(適応済)								
アフェクション	★		DR直後	20m	単体	自動成功	シナリオ1回	
効果: 対象が受ける予定のダメージを"0に変更"する								
リバーサル	3	10	判定直後	20m	単体	自動成功	シーン1回	
効果: 達成値-SL*3								
ファイトソング	★		セットアップ	20m	単体	自動成功	シナリオ1回	
効果: 既に使用した、回数制限のスキル使用回数を1増やす。								
プレディクション	★		パッシブ					
効果: アドバイスのダイスを2dに								
ファラウェイ	1		効果参照					
効果: ヒーラーのメジャースキル使用時同時使用、それを範囲(選択)化								
オイトメント	1		メジャー					
効果: 判定+1d								

【りゅうたま世界のフェイナ】
 ヒューリンの魔法使いの里で育った少女。
 魔法の素質は飛びぬけており、中でも風を扱う魔法は里の大人にも勝るほどであったがしかし、マイペースで奔放な性格ゆえ修行を嫌い、自らその才能を殺していた。

そんなある日。彼女が風に身を任せ、散歩をしていた時のこと。

フェイナは何故か、森の奥へ風が呼んでいる気がした。
 不思議な、その風に導かれて。里の外へ。
 そこに一匹の黒猫を見つける。
 傷を負い、歩けないようだった。

『この子を、助ける。』そう決めたフェイナ。
 <外部の生物の連れ込みを禁じる>
 そんな里の掟も気にせず、彼女は猫を隠れ家へ運んだ。
 そこで自ら治療法を学習し、治癒魔法まで習得して、猫を治療した。

その後、猫の事は里にバレてしまったが、傷ついた猫のために勤勉に学習したフェイナに皆驚いた。
 里の者は気が付いたのだ。
 彼女は【他を助ける為にしか、その才を使おうとしないのだ】と。
 里は、彼女に旅をさせることにした。

